

＜今日の説教のポイント 創世記 35 章 1～15 節＞

私たちのベテル（神の家:28:19, 31:13 にも）はどこかを考えたい。

①まず「ベテル」が出て来た個所のおさらいをしよう。

ヤコブ物語全体を通して何度か出て来たベテル。まずヤコブが逃亡して苦境の中にある時に神様が現れられて「必ず守る」と言われた 28 章 19 節、次に「故郷へ帰れ」と告げられた時の 31 章 13 節。これらの箇所をおさえた上で今日の箇所を読むと、見えて来るものがあります。

②神様は、どこでも神様にお会いできるベテルを設けて下さった！

ヤコブは言います、「苦難の時わたしに答え、旅の間わたしと共にいて下さった神のために（ベテルに）祭壇を造る」(3)と。また、「兄を避けて逃げて行ったとき、神がそこでヤコブに現れたからである」(7)、「ヤコブは、神が自分と語られた場所をベテルと名付けた」(15)ともあります。このベテル（神の家）について大事なことは何でしょうか？ 第一に、ヤコブが自らの愚かさの故に苦境に陥った時に、神様が自らを現して進むべき方向を示して下さったこと。第二に、そのような神様がおられることを知ったこと。つまり、このヤコブと同じようにどうしようもない者であっても、その私たちを赦して下さり、新たにどこを向いて生きて行けばいいかを教えて下さる神様がおられることを知らされたこと。そして第三に、今の私たちにもベテルが与えられていること。それはイエス・キリストとの出会いであり、そのために神様は教会を、そしてそこでの礼拝を用意して下さったということです。そこで御言葉の解き明かしを聞く中で、私たちはヤコブと同様、いつも共にいて下さる神様のことを覚えて新たに生きて行くことができるようになるのです！

③神々を取り去り、身を清めて衣服を着替える — 私たちの応答の姿！

ヤコブはベテルに上るに際し、「神々を取り去り、身を清めて衣服を着替える」(2)よう命じています。神様の恵みの招きに対して人間が返すべき当然の姿でしょう。これは私たちが洗礼の招きに応じる時にも当てはまります。「滅びに向かっている古い人を脱ぎ捨て…神にかたどって造られた新しい人を身に着け、真理に基づいた正しく清い生活を送るようにしなければなりません」(エフェソの信徒への手紙 4:22-24)。